

2026年3月期 決算概要

株式会社シキノハイテック

高橋 信 一

東証スタンダード 証券コード：6614

2026年5月15日

- **2026年3月期 決算概要**
- **2027年3月期 業績見通し**

2026年3月期 決算概要

売上高及び利益とも前期比で減収・減益

- ✓ 売上高は、前期比で電子システム及びマイクロエレクトロニクスで増収となるも、製品開発で減収となり、全体としても微減
- ✓ 利益は、電子システム事業、マイクロエレクトロニクス事業、製品開発事業の3事業ともに前期比で減益

(百万円・%)

	2026年3月期 実績	
	金額	構成比
売上高	6,485	100.0
販管費	1,131	17.4
営業利益	▲169	▲2.6
営業利益率	▲2.6	-
経常利益	▲165	▲2.6
当期純利益	▲109	▲1.7

2025年3月期 実績		対前期
金額	構成比	差
6,516	100.0	▲30
1,239	19.0	▲108
56	0.9	▲226
0.9	-	-
54	0.8	▲220
▲14	▲0.2	▲95

事業部別売上構成に大きな変化無

製品開発の構成比が微減、電子システムとマイクロシステムそれぞれ微増

電子システム事業

計測装置・
半導体検査

マイクロエレクトロニクス事業

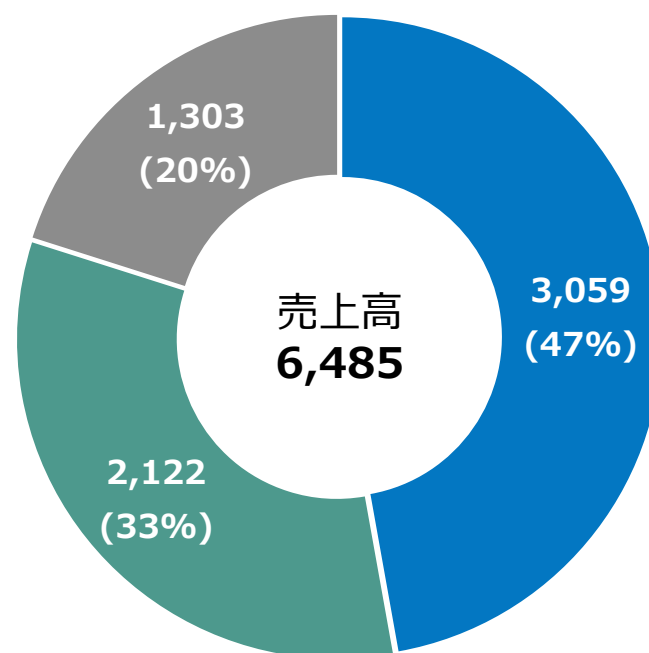
LSI設計（アナログ・デジタル）
IPコア

製品開発事業

組み込みカメラモジュール
画像システム

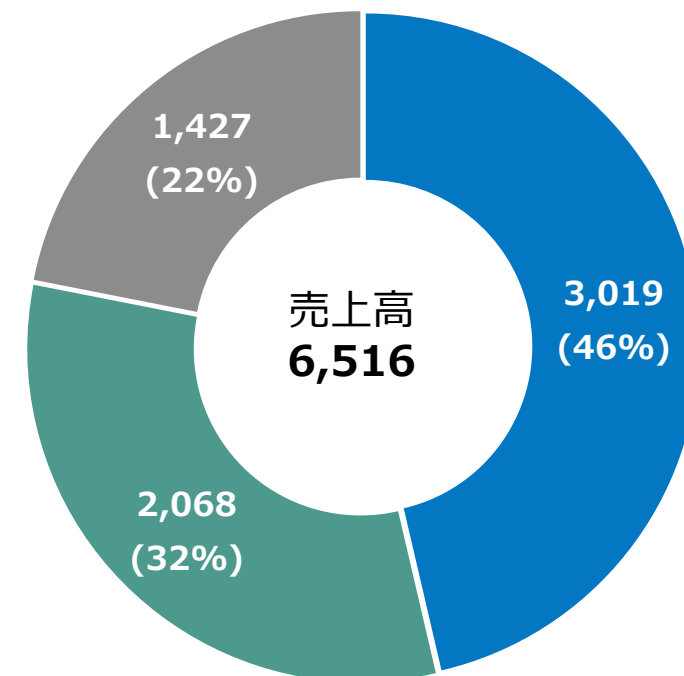
2026/3月期売上構成

(単位：百万円)



2025/3月期売上構成

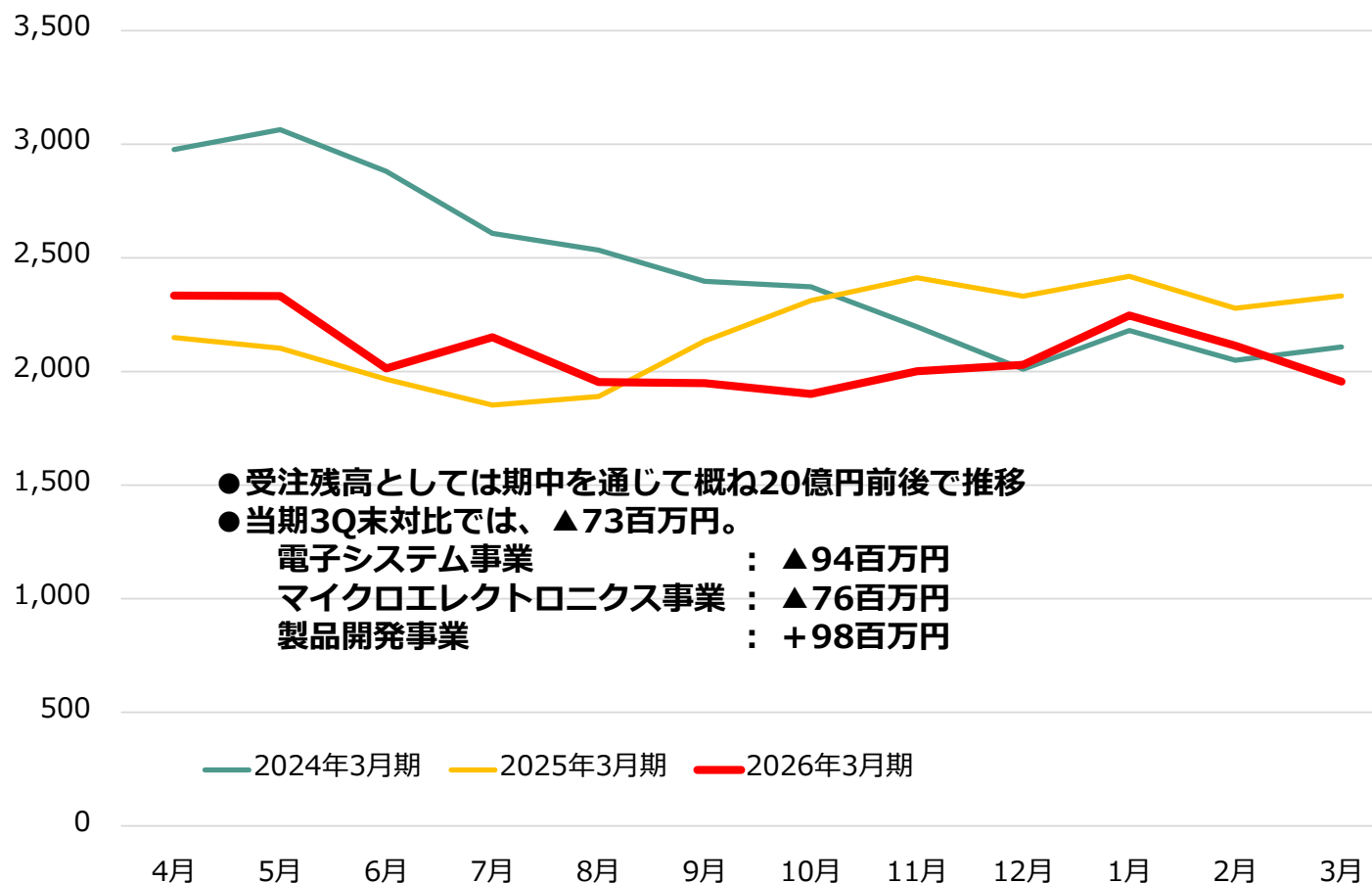
(単位：百万円)



直近3年間の受注状況

【受注残高（全社）】

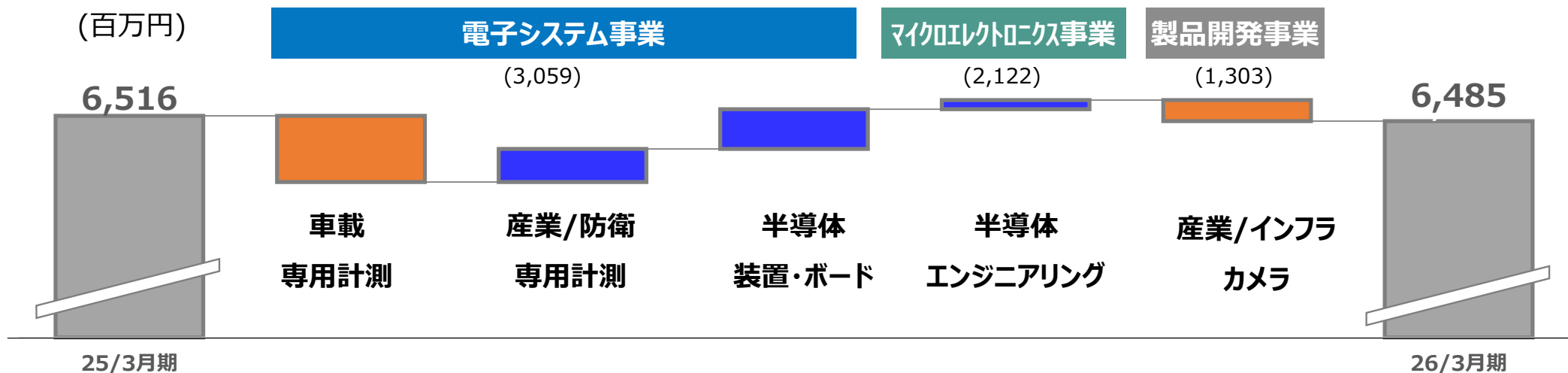
（単位：百万円）



- 受注残高としては期中を通じて概ね20億円前後で推移
- 当期3Q末対比では、▲73百万円。
 - 電子システム事業 : ▲94百万円
 - マイクロエレクトロニクス事業 : ▲76百万円
 - 製品開発事業 : +98百万円

売上増減 主要因分析

車載専用計測装置と製品開発事業商品の受注減をカバーし切れず売上微減



電子システム事業

+40

- 自動車市況の不透明感継続で車載用専用計測器の**受注減**
- 産業/防衛専用計測器の新規受注増加により**増収**
- 半導体カスタム装置およびカスタムボード継続受注により**増収**

車載専用計測	前年比: 40%
産業/防衛専用計測	前年比: 222%
半導体装置・ボード	前年比: 122%

マイクロエレクトロニクス事業

+53

- 車載向けアナログLSI設計や海外顧客の設計は堅調に推移し**増収**
- デジタルLSI設計は、大型案件の開発中止により**減収**

半導体エンジニアリング	前年比: 103%
-------------	-----------

製品開発事業

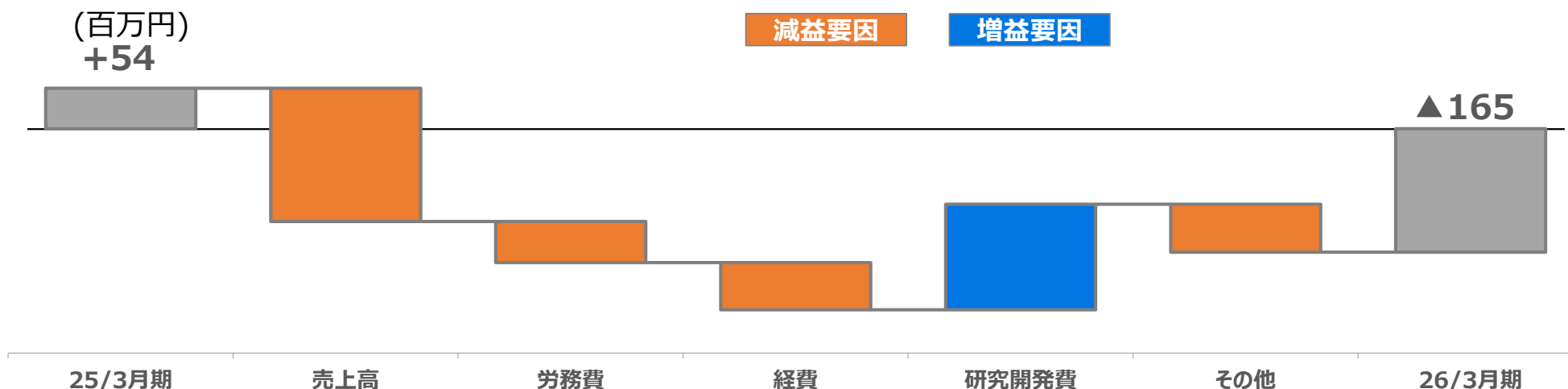
▲124

- 国内ATM、セルフレジで**受注減**
- カード読取端末機の**量産開始遅れ**
- 海外ATM、コンビニ飲料提供機器、防衛分野で**受注増**

産業/インフラカメラ	前年比91%
------------	--------

経常利益増減 主要因分析

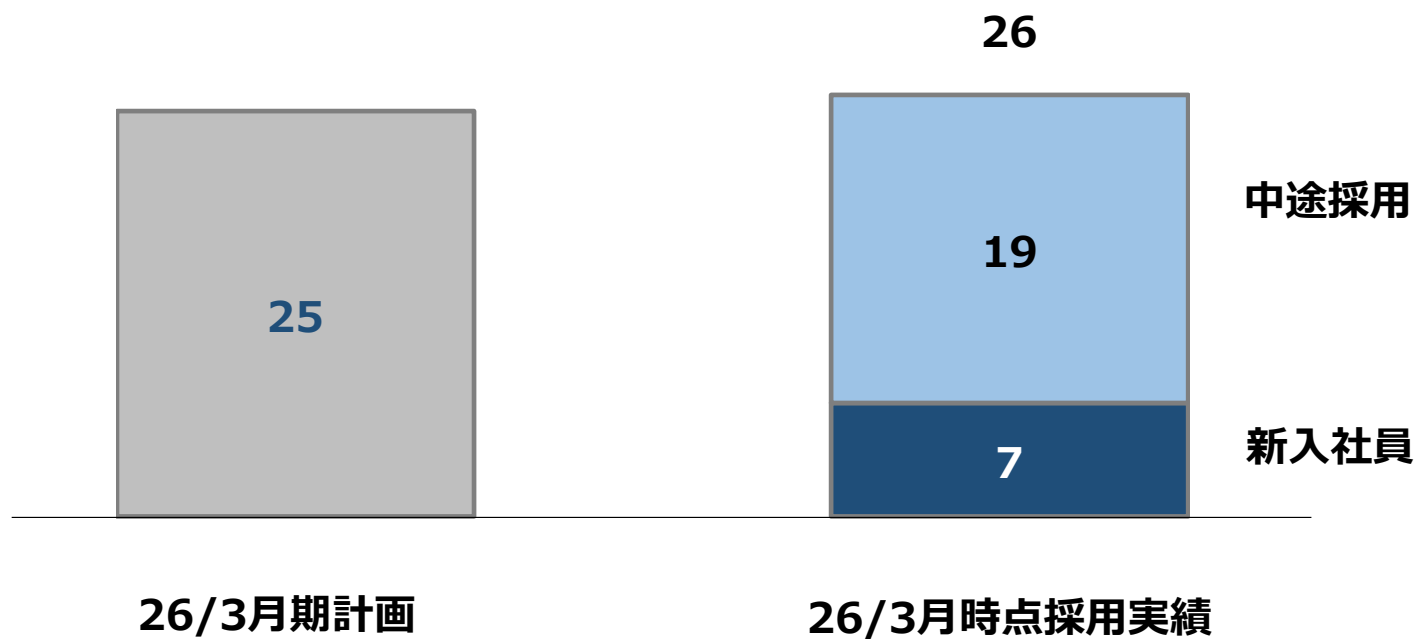
減収、商品構成、資材費高騰/派遣単価アップ等、ネガティブ要因により減益



<p>電子システム事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> 半導体信頼性装置の商品構成変化（装置増、ボード減）、及び一部産業計測機器が開発から製造へフェーズ移行したことや資材費高騰の影響で減益
<p>マイクロエレクトロニクス事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> 増員、派遣単価アップに伴い労務費が増加し減益
<p>製品開発事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> 減収による減益

人材採用の進捗率としては順調に推移するも人材争奪戦は継続

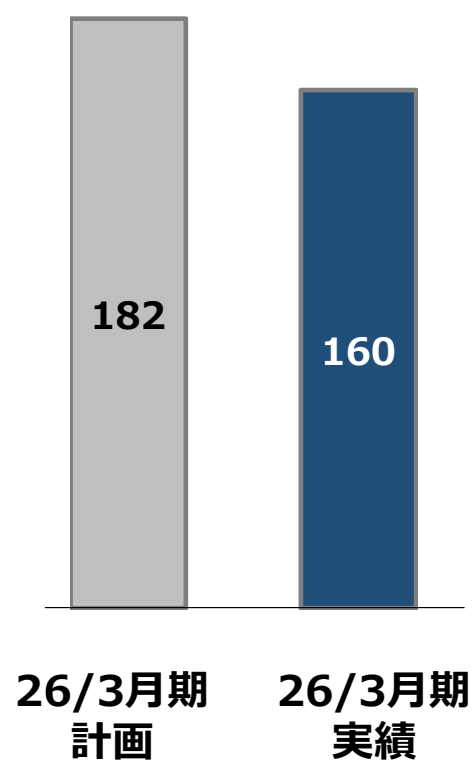
人材採用
(単位：人)






✓ 短期販売直結の研究開発テーマを選択、投資を集中し開発費を抑制

研究開発費
(単位:百万円)

研究開発主要テーマ



<p>電子システム事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> Nessum通信 (IEEE1901-2020準拠) 	<ul style="list-style-type: none"> 第4世代Nessum 通信モジュール商品化 
<p>マイクロエレクトロニクス事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次世代JPEG IPコア・画像処理ボード 	<ul style="list-style-type: none"> JPEG XL-エンコーダIP を商品化 
<p>製品開発事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> 介護施設向け 見守りシステム製品 	<ul style="list-style-type: none"> ミリ波レーダ・カメラ一体型 C-エイド商品化 

✓ 海外のパートナー連携を開始、グローバルでの顧客開拓と販路拡大を推進

電子システム事業

- ✓ 半導体検査装置
台湾AGNEZ TECH連携
による顧客サポート強化



マイクロエレクトロニクス事業

- ✓ IP
米CAST社との戦略的連携
IPラインアップと販路拡大



製品開発事業

- ✓ カメラモジュール
 - ・インドe-con Systems社との相互補完協業を通じたグローバル販売展開
- ・ドイツ商社INELTEKと取引基本契約を締結



中期計画における成長コアの進捗

✓ オーガニック領域は順調に進捗も 非オーガニック領域の新商品販売で遅れが発生

	電子システム事業	マイクロエレクトロニクス事業	製品開発事業
オーガニック	産業/防衛 ・専用計測機が堅調に推移	海外 ・主要顧客との取引継続、拡大 ・北米大手の新規案件受注	ソリューション ・見守りシステム「C-エイド」 全国拡販を開始も販売遅延
非オーガニック	Nessum ・第4世代開発・認証取得完了 ・新規顧客への提案活動展開	新IP/自社デバイス ・新IP JPEG-XL開発完了 ・自社デバイスマーケティング強化	海外 ・当社製品をe-conへ サンプル供給、欧米で拡販開始
成長コア進捗 ■ 非オーガニック ■ オーガニック成長分	<p>進捗107%</p>	<p>進捗128%</p>	<p>進捗101%</p>

成長コア = **オーガニック成長エンジン分** + **非オーガニック**

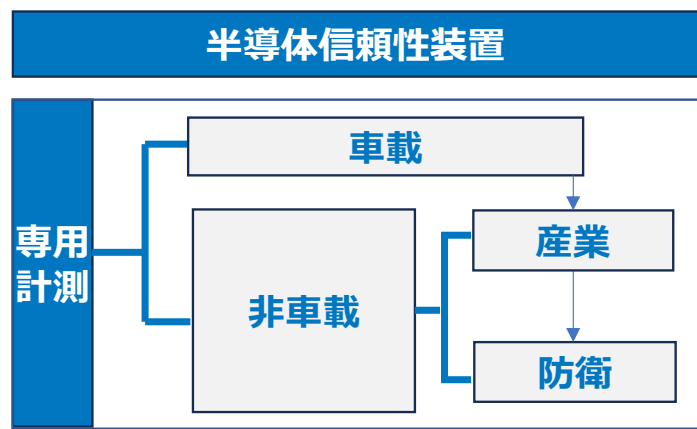
2027年3月期 業績見通し

収益拡大に向けた販売、商品

- ✓ 協業連携を更に強化し半導体とソリューション分野を切り口に販売活動を拡大、効率化
- ✓ 高付加価値分野、商品に注力し収益率の改善を図る

マイクロエレクトロニクス事業

電子システム事業



製品開発事業

半導体

エンジニアリング・IP： 協業を活かした販売チャネル・商品を多様化

半導体信頼性装置： 高電力対応する装置を独自にアジア開拓

ソリューション

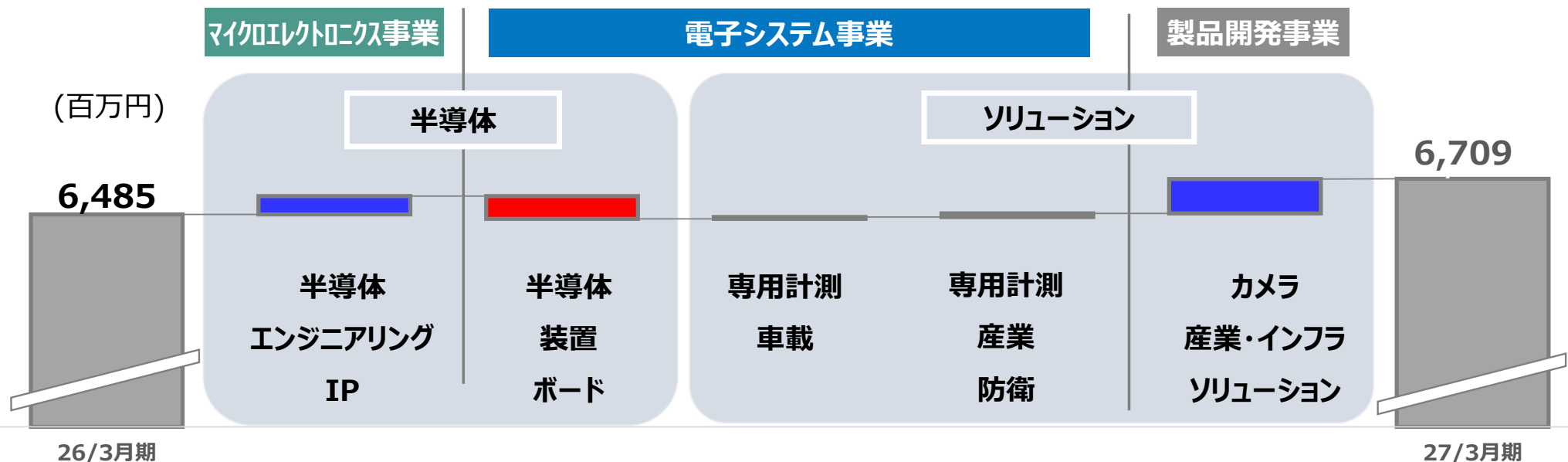
車載EV： 次世代車載部品に向けた計測器を継続開発

産業： ライセンス技術を活用した計測器を応用展開

防衛： 確立した計測技術をコアに計測装置を顧客内展開

ソリューション： 業界に強い販売代理店との連携で見守り拡販

売上昨対見通し



<p>マイクロエレクトロニクス事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ アナログ： 車載向けパワー半導体設計へ引き続き注力すると共に海外顧客を更に拡大 ✓ デジタル： DSC等画像処理関連の大型案件に注力 ✓ IP： 協業を活用した国内外での販売を強化 	<p>+112</p>
<p>電子システム事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 半導体検査： AI向け電源モジュールや高電力向けボードを展開、検査装置は開発谷間で昨対比減 ✓ 車載 専用計測機： 既存販売は継続、次世代車載部品向け計測機の開発に注力 ✓ 産業/防衛 専用計測機： 既存産業と新規ライセンス顧客を開拓 	<p>▲97</p>
<p>製品開発事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 海外協業による商品ラインアップの強化とカメラソリューション提案で増販を図る ✓ ソリューション： 介護施設に販売網を有するパートナーとの連携で見守りを増販 	<p>+210</p>

2027年3月期 業績予想

2027年3月期は増収増益

- ✓ 電子システム事業は減収、マイクロエレクトロニクス事業及び製品開発事業は増収、全体としても増収を見込む
- ✓ 利益については商品構成変化による利幅増加と増収による利益増加により増益を見込む

(百万円・%)

	2027年3月期 通期予想	
	金額	構成比
売上高	6,709	100.0
営業利益	117	1.7
営業利益率	1.7	-
経常利益	107	1.6
当期純利益	82	1.2
研究開発費	216	3.2

2026年3月期 実績	
金額	構成比
6,485	100.0
▲169	▲2.6
▲2.2	-
▲165	▲2.6
▲109	▲1.7
160	2.5

増減	
額	率
223	3.3
286	-
-	-
273	-
191	-
55	25.9

	2027年3月期 通期予想	
	金額	構成比
売上高	6,709	100.0
電子システム	2,962	44.2
マイクロエレクトロニクス	2,234	33.3
製品開発	1,512	22.5

2026年3月期 実績	
金額	構成比
6,485	100.0
3,059	47.2
2,121	32.7
1,303	20.1

増減	
額	率
225	3.5
▲97	▲3.2
112	5.3
210	16.1

2027年3月期 年間配当予想

安定的・継続的な株主還元の考えを継続し、配当を実施する予定です。

年間配当

15円

(単位：円)

	1株当たり当期純利益および配当金	
	2027年3月期 予想	2026年3月期 実績
1株当たり当期純利益	18.6	▲24.9
中間配当金	0	0
期末配当金	15	15
年間配当金	15	15

※2026年5月15日現在において、配当予想額は、1株当たり=15円を予定しております。

本資料の取り扱いについて

本資料で提供する情報のうち業績見通しおよび事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。

従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは異なる結果になりうることをご承知おきください。

当社がこの資料を発行後、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新、又は修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、又これを保証するものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属し、目的を問わず、当社に事前の承諾なく複製又は転用することなどを禁じます。

ご注意事項

数字の処理について

当社業績に関する記載金額は特に明記が無い限り、以下の通り処理しております。そのため内訳の計が合計と一致しない場合があります。

- ・表、グラフの金額：表示単位未満を切り捨て
- ・比率：表示単位第1位未満を四捨五入

お問い合わせ先

株式会社シキノハイテック

常務取締役

執行役員管理本部長 舩田 敏彰

e-mail：IR-contact@shikino.co.jp

TEL：0765-22-3477 FAX：0765-22-3916

ホームページ：https://www.shikino.co.jp/